

東区自治協議会提案事業検討部会 会議概要録

【開催概要】

- 名 称：平成 29 年度 第 4 回 東区自治協議会提案事業検討部会
- 日 時：平成 30 年 3 月 16 日（金）午前 10 時～正午
- 場 所：東区プラザ 音楽練習室 1
- 出席者：後藤委員、吉田委員、大江委員、長谷川委員、佐藤委員、
國兼委員、井上委員
(事務局) 地域課

【審議内容】

1 平成 29 年度区自治協議会提案事業について

(1) 事業評価書（案）について

第 2 部会から、東区の居場所を紹介する「東区あったかふれあいマップ」の完成及び滯足柵マスコットキャラクター「ぬたりん」の活用事業について報告があったほか、第 3 部会から、東区の工業を紹介する映像「東区の工業～はばたけ、世界へ、未来へ～」の完成報告がありました。

また、各部会で担当した事業について、評価内容を確認し、別紙のとおり「東区まちづくりプロジェクト」の評価書案としてまとめました。

(2) 平成 30 年度区自治協議会提案事業について

来年度の事業の進め方について確認しました。

区自治協議会提案事業 事業評価書【案】

東区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	東区まちづくりプロジェクト【事業費予算 5,000千円】のうち (1)発災時の地域防災体制支援事業【事業費予算 920千円】
事業目的・概要	①平成28年度実施の地域防災推進事業を踏まえ、地震などの災害時において、地域内の連絡体制や地域から区災害対策本部へ被災情報を伝達する体制を構築するため、地域コミュニティ協議会でワークショップを開催する。 ②構築した体制に基づいて、地域と区災害対策本部で情報の伝達訓練を実施する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	○ワークショップ 日 時:平成29年7月28日(金) 午前10時～正午、午後2時～4時 会 場:東区プラザ 多目的ルーム2 内 容:発災時の情報収集方法などについて、グループワーク形式で検討 参加者:87名(山の下コミ協、下山コミ協、桃山コミ協、木戸コミ協、防災士) ○事前説明会 日 時:平成29年11月1日(水) 午前9時30分～11時30分 会 場:東区プラザ ホール 内 容:訓練当日の流れや無線機の使用方法的説明、連絡網の共有 参加者:46名(山の下コミ協、下山コミ協、桃山コミ協、木戸コミ協) ○情報伝達訓練 日 時:平成29年11月13日(月)、15日(水) 場 所:山の下コミ協、下山コミ協、桃山コミ協、木戸コミ協の 指定避難所・一時避難場所・その他 内 容:発災時を想定した情報伝達訓練とその振り返り 参加者:59名(山の下コミ協、下山コミ協、桃山コミ協、木戸コミ協)
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	・情報伝達訓練を全12コミ協で実施することを考えると、複数年での実施が必要である。また、来年度に情報伝達訓練の実施を検討しているコミ協もあるため、継続していきたい。 ・同一の内容だけではなく、防災士を交えた事業や防災教室などの子ども向け事業など、これまでと違う方向性も検討していきたい。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書【案】

東区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	東区まちづくりプロジェクト【事業費予算 5,000千円】のうち (2)東区めぐり子どもバスツアー【事業費予算 210千円】
事業目的・概要	東区内の特色ある施設を実際に訪れ、見て学び体験することにより、東区の魅力の再発見と東区に対する愛着を深めることに繋げる。 また、他校の児童との交流により、子どもたちが社会性を育む機会を提供する。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	日 時:平成29年8月21日(月) 午前9時～午後4時20分 参加者:小学4～6年生 39名(男子 20名、女子19名) 見学先:山の下閘門排水機場、新潟空港、航空自衛隊新潟分屯基地、 北越紀州製紙株式会社新潟工場
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・定員を上回る多くの申込みがあり、参加した小学生へのアンケートでも満足度は95%であり、大変好評であったと考える。 ・小学生に東区の魅力を発信する良い機会であり、教育において「体験」が重視されているなかで、実際に施設を訪れ、見て学び体験できる機会であることから、事業を継続して行う。 ・想定以上のニーズを確認できることから、不公平感が生じないよう周知方法や申込方法を検討する必要がある。 ・小学生が目的意識を持って参加できるよう、テーマや目的をより明確にして実施できるとよい。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書【案】

東区自治協議会

区 分	内 容
<p>テーマ・事業名</p>	<p>東区まちづくりプロジェクト【事業費予算 5,000千円】のうち (3)温かな東区共生社会創出事業【事業費予算 1,000千円】</p>
<p>事業目的・概要</p>	<p>①子どもから高齢者まで、皆が気軽に集い交流できる居場所(地域の茶の間、子ども食堂など)について情報収集する。 ②居場所づくりの参考として活用できるよう、冊子などにまとめて広く周知する。</p>
<p>事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)</p>	<p>○『東区あったかふれあいマップ』の製作 ・冊子の内容:地域での居場所づくりの参考となるよう、区内にある居場所の情報を地域毎のマップとともに紹介する。 ・掲載箇所:地域の茶の間 54か所 老人憩の家 7か所 子育て支援施設 7か所 子育てサロン 5か所 こども食堂 4か所 ・発行部数:1,000部 ・規格:A4版 フルカラー印刷 16頁 ・配布先:区内の各自治会・町内会長, 民生委員・児童委員, 区社会福祉協議会及び区役所健康福祉課 等 ・その他:区ホームページ上で公開</p>
<p>事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</p>	<p>・少子高齢社会に加え、核家族化が進むこれからの時代に、お互いが支え合って生活するための拠り所となる各種の居場所について、冊子等により分かりやすく情報提供することは支え合いのしくみづくりの出発点となると考える。 ・地域の茶の間やこども食堂など、居場所の種類ごとに色別で表記し、地域ごとにマップで紹介したことで分かりやすく活用しやすい冊子となった。この冊子が居場所づくりの参考となることを期待する。 ・非常に見やすい仕上がりととなったが、他の情報紙との差別化を図るためには、今後の冊子の活用方法が重要である。 ・内容が変更されることもあるので、改訂版の発行についても今後検討する必要がある。</p>
<p>備考</p>	

区自治協議会提案事業 事業評価書【案】

東区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	東区まちづくりプロジェクト【事業費予算 5,000千円】のうち (4)世代間交流イベント「東区あったかふれあいまつり」【事業費予算 230千円】
事業目的・概要	閉じこもりがちな高齢者と若い世代の人たちとの交流の機会や健康づくりの場を提供することを目的に、世代間交流イベント「東区あったかふれあいまつり」を開催する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	○世代間交流イベント「東区あったかふれあいまつり」の開催 日 時:平成30年3月18日(日) 午後2時～4時30分 会 場:東区プラザホール 参加者:300名 内 容:越後勢龍太鼓(航空自衛隊新潟分屯基地太鼓部) 新潟弁でラジオ体操(新潟市運動普及推進協議会東支部) クラウンショー(ひまわり&ねんじ) 器楽演奏(牡丹山器楽クラブ) 「ぬたりん」東区公認キャラクター任命式 お楽しみ抽選会
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の世代間交流イベントの反省を参考に、内容や時間配分等を考え、立案することができた。 ・これから新しい活動の時期を迎える3月に世代間交流イベントを行い、楽しいひと時を過ごしてもらうことは、お年寄りには元気を与え、若い世代には地域への愛着と認識を改めて自覚してもらうために大変有効であると考えます。 ・高齢化が進む現在、高齢者の若い世代との交流、健康づくりの場の提供は大きな意義がある。 ・閉じこもりがちな高齢者が実際に参加できたかは不安なところであるが、子どもから大人まで一緒になって楽しむことができた。今後も継続して実施していきたい。 ・閉じこもりがちな人や会場までの交通の便が悪い地域の人は依然として参加しづらいため、今後同様の事業を実施する際は、こうした人々も参加しやすい方法を考える必要がある。 ・今後も継続して事業を実施する場合は、多くの区民に参加してもらうためにも、イベント内容や出演者などが毎年似通ってしまわないよう留意しながら企画していく必要がある。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書【案】

東区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	東区まちづくりプロジェクト【事業費予算 5,000千円】のうち (5) 淳足柵マスコットキャラクター「ぬたりん」の活用事業【事業費予算 1,140千円】
事業目的・概要	東区歴史浪漫プロジェクトの淳足柵マスコットキャラクター「ぬたりん」は、当該プロジェクトだけでなく、東区各課のさまざまな事業の広報に活用されており、区民の認知度も高いことから、東区公認キャラクターに任命し、さまざまなイベントや広報に積極的に活用していく。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	○東区自治協議会や区役所主催事業等で活用できるよう、「ぬたりん」の着ぐるみを製作 ○東区自治協議会提案事業「東区あったかふれあいまつり」で東区公認キャラクター任命式を実施 日 時：平成30年3月18日(日) 午後2時～4時30分 会 場：東区プラザホール 参加者：300名
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	・「ぬたりん」の着ぐるみを製作し、東区あったかふれあいまつりにおいて、東区公認キャラクターとしてお披露目したことで、今後、東区のシンボルとして多様な場面で活用されていくことが期待できる。 ・様々な事業で積極的に活用してもらうことにより、各事業への注目を集める存在として大きな役割を果たすことができ、東区に対して関心を持ってもらうために大変有効であると考えられる。 ・小学校の訪問等により、淳足柵のPRや東区に対する郷土愛の育みに貢献することを期待する。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書【案】

東区自治協議会

区 分	内 容
<p>テーマ・事業名</p>	<p>東区まちづくりプロジェクト【事業費予算 5,000千円】のうち (6)東区産業史発掘事業【事業費予算 900千円】</p>
<p>事業目的・概要</p>	<p>①東区にある事業所や東区で発展した事業所などの中で、日本・世界に誇れる「技術」や「もの」にスポットをあて、その歴史的な背景などについて情報収集する。 ②収集した情報を広く周知し、東区の魅力として発信する。</p>
<p>事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)</p>	<p>○「東区の工業～はばたけ、世界へ、未来へ」のDVD制作 シナリオの概要 前半部分：東区の工業が発展してきた歴史的変遷の説明 後半部分：現在の東区内にある工場及び製造される製品の紹介 時間：約13分 DVD制作枚数：30枚 配布先：区内コミュニティ協議会及び小学校 その他：区ホームページ上や、東区バスの車内で公開</p>
<p>事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で1位を誇る東区の工業だが、これまでは区民にあまり認識されていなかったように感じる。この映像で、その素晴らしさが明確に認識され、区民の誇りにつながると思う。 ・小、中学生にも解りやすく、産業に興味を持ってもらえる映像となった。東区の工業の歴史と現状がよく解かり、東区のスペシャルサイト「げんき魂」をガイドすることで各企業の詳細を知ってもらえ、理解が深まる。 ・工場見学で委員の知識を高め、企画・立案に取り組めた。映像に東区の歴史的背景を折り込み、世界へはばたける企業の紹介ができて良かった。 ・この映像を今後の事業やイベント等の色々な機会でも発信していくことが、東区の魅力発信につながっていくと思う。自治協議会のイベント等でも活用していきたい。 ・映像が区バスで流されることで、幅広い層に周知できることが期待できる。また、地域からの発信によるPR効果にも期待する。 ・映像を見た東区民の感想を聞きたい。また、子ども達が東区の産業に興味を持ち、東区を盛り上げてくれる人材に育ってくれるよう、小学校の授業に取り入れてもらいたい。 ・今回の映像制作に係わったことで、色々な東区の良さを発見することができた。また、東区の工場を見学し、さまざまな企業の努力を勉強できた。 ・小学生が理解するには、難しい説明となったところがあると思う。 ・東区の産業について情報収集し、東区内外に情報を発信することはテーマとして大きく、月に一度開催される部会だけの検討では不十分だったと思う。 ・委員研修でおこなった県立大学生とのワークショップのような場を増やし、東区の産業について知ってもらう機会を作れると良い。 ・過去にあった環境汚染などのマイナス部分を検証し、事業者の努力によりプラスに転じ発展してきたことを紹介しても良かったのではないかと。
<p>備考</p>	

区自治協議会提案事業 事業評価書【案】

東区自治協議会

区 分	内 容
<p>テーマ・事業名</p>	<p>東区まちづくりプロジェクト【事業費予算 5,000千円】のうち (7)東区の公共交通の研究【事業費予算 600千円】</p>
<p>事業目的・概要</p>	<p>平成28年度の「公共交通実態調査」の結果を踏まえ、東区における公共交通の課題を解決する方策を探る。</p>
<p>事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)</p>	<p>○東区バス「河渡ルート」へのモニター設置 ・東区バスの認知度向上及び車内環境の改善を目的に、バス車内にモニターを設置し、平成26年度自治協議会事業で制作した「東区を紹介するデジタル紙芝居」や、今年度の自治協議会事業で制作する「東区の工業～はばたけ、世界へ、未来へ」を上映する。</p>
<p>事業の評価</p> <p>（地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など）</p>	<p>①区バスへのモニター設置について ・区バス「河渡ルート」でこれまでに自治協議会で制作した映像を上映することは、東区の魅力発信にとどまらず、更なる利用率の向上につながることを期待できる。 ・「河渡ルート」は学生が多く乗る路線になっており、制作した映像を上映するには最適な場所と考える。学生たちに自分たちの育った場所がどのようなところだったのか。また、どのような環境だったのかを映像を通じて少しでも理解してもらえたら嬉しい。 ・今年度の事業で、区バス「河渡ルート」の1台にモニターを設置するが、今後「松崎ルート」の車両にも設置できれば、より多くの人に映像を見てもらえ、魅力の発信をすることが出来る。 ・今後、広告なども放映できるようにし、広告収入を得ることができるようになりたい。 ・モニターを設置することで、通年で利用する人だけでなく、春休みや夏休みに小学生の利用が増えていくと良い。バスに乗りながら映像を見て、その映像に出てくる企業の煙突を探すなど楽しんでもらいたい。 ・モニターの設置により車内環境は良くなると思うが、直接的な利用者の増加にはつながらない。もっと利便性を高めていくことが必要だと思う。</p> <p>②区バスの認知度について ・これまで区バスを利用していなかったが、冬場に週2回は「紫竹・江南ルート」を利用した。利用した際は満席になる程で、このバスがないと困るだろうという場面をたくさん見た。もっと周知されれば、利用者も増えると思うので、区バスの「良さ」を伝えたい。 ・「紫竹・江南ルート」を本格運行にするため、乗客が増えるよう関係自治会に働きかけたい。</p>
<p>備考</p>	